

マスターズ甲子園2019実行委員会（第2回）

日 時： 2019年8月10日（土）15：30～17：30

場 所： 神戸ポートピアホテル（南館 B1F ルビー）

出席者： 樽谷、多湖、戒能、前崎、宝槻、高山、北野、岡田、高田、小菌、小林、杉山、浪花、彦次、
谷、菌田、長ヶ原

欠席者： 高橋、小川

事務局： 松村、青山、松崎、乾、山下、三浦、出戸

議 題：

- 1) 2019予選大会途中経過について
資料1：本大会プログラム
- 2) 2019本大会計画と今後の諸準備について
- 3) その他

議事録

15：38より長ヶ原実行委員長（以下、委員長と称す）のあいさつにより開会。委員長より実行委員会の趣旨および議題について説明が行われた。

議題1) 2019予選大会途中経過について（資料1：本大会プログラム）

委員長より、配布資料に基づいたマスターズ甲子園2019本大会のプログラムについて説明がなされた。委員長より、8月10日現在で決定している代表チームは埼玉県代表・市立浦和 OB、岐阜県代表・岐阜県選抜、岩手県代表・宮古 OB、宮城県代表・東陵 OB、福島県代表・郡山北工 OB、島根県代表・出雲北陵 OB、兵庫県代表・三原 OB、愛知県代表・国府 OB、三重県代表・久居 OB であること、2019年の本大会に出場する16チームのうち9チームが決定したことが確認された。戒能副会長、委員長、彦次副実行委員長、前崎実行委員、高山実行委員、北野実行委員より、その他の地方大会の今後の日程について報告があり、10月中旬にはすべての代表チームが揃うことが確認された。

議題2) 2019本大会計画と今後の諸準備について

●マスターズ甲子園2019本大会当日のプログラムについて

委員長より、愛知県代表・国府高校の応援団として現役のプラスバンド部からの要請があったこと、もし大阪代表として PL 学園 OB が出てきた場合、PL 学園の応援団が参加予定であることが報告され、他の代表チームに関しても当日来場する応援団の有無を、実行委員会ならびに事務局で確認していくことが確認された。委員長より、8月10日時点でのキャッチボールペア数は約250ペア、ボランティアの応募は約150人であることが報告された。

●マスターズ甲子園2019特別企画案について

委員長より、前回の実行委員会で承認された朝日新聞社との連携企画に関して、バーチャル高校野球での中継配信ならびに朝日新聞社が運営する「A-port」を利用したクラウドファンディングの実施案について説明された。小菌実行委員より、前回の実行委員会からの進捗状況として、現時点でバーチャル

高校野球内にマスターズ甲子園の生中継とアーカイブを残すことが可能であること、地方予選のアーカイブや記事の掲載を行うことが可能であること、そしてバーチャル高校野球の実施の条件として、3社以上の協賛と600万円以上を達成するクラウドファンディングの実施が必要であることが報告された。小藪実行委員より、バーチャル高校野球の生中継を行う場合のマスターズ甲子園のHPレイアウト案の説明がされた。また、小藪実行委員より、クラウドファンディングを実施するとなった場合の、A-portの募集ページの作成が必要であること、インセンティブ案に関してはタオルや大会公式球に加えて、大会終了後、試合映像のDVD化が可能であることも報告された。高田副委員長、杉山実行委員からクラウドファンディングの実施に関して出資者の選定はできるのか指摘があったが、小藪実行委員より、高校野球が使用しているNGリストは存在するため、出資者の選定は可能であると報告された。また、小藪実行委員より、NGリストはマスターズ甲子園ならではのリスト作成の必要がある旨が報告された。バーチャル高校野球とクラウドファンディングの実施に関しては、引き続き検討を進めていくこと、実施の判断は9月中であることが確認された。

●マスターズ甲子園2019大阪予選大会代表決定戦（8月31日）について

委員長より、8月31日（土）に花園球場にて行われるマスターズ甲子園2019大阪予選大会代表決定戦について、前の議題であるバーチャル高校野球のテストを実施すること、その実施について、マスターズ甲子園大阪府予選実行委員会、朝日新聞社、朝日放送テレビの了承を得られていることが報告された。小藪実行委員、小藪実行委員より、実施に伴うメディア対応に関して、現状多数のメディアが殺到し混乱が予想されるため、試合日までのプレス対応などを実行委員会ならびに事務局でサポートする旨の提案があった。杉山実行委員より、当日のリリース方法や代表質問、雨天順延などプレス対応に関しての事前準備には、専門的な知識と経験が必要であるため、共催である朝日新聞社や後援であるABCテレビにも協力の必要性について指摘があった。当日の対応などに関しては、上記2社の協力も得ながら、実行委員会ならびに事務局で対応していくことが確認された。

議題3) その他

●本大会での安全対策について

高田実行委員より、前回の実行委員会で緊急時の連絡体制の強化や安全対策の強化に関して、医療班については従来までボランティアであったが、実行委員会として予算を付ける必要性について提案があった。協議の結果、次回の理事会において予算化について検討することが確認された。

●全国高校野球OBクラブ連合・マスターズ甲子園2019関連主要スケジュール

委員長より、10月13日に第3回全国高校野球OBクラブ連合理事会・マスターズ甲子園2019実行委員会（第3回）が神戸大学にて開催予定である旨が報告された。

以上をもって議案の審議が終了し、委員長により17時33分に散会